



学校だより



2023年 4月24日

No. 483

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shimonoba/>

横浜市立下野庭小学校



「かっこいい」を今年度のテーマに
～「かっこいい」を考える一年は、これからの人生を考えるきっかけに～ 校長 黒木 英晴

令和5年度が始まり、ひと月が経とうとしています。先日行われました授業参観、懇談会にご参会いただきありがとうございました。子どもたちの様子はいかがでしたでしょうか。普段の子どもたちの様子を見ていまして、落ち着いてスタートすることができていると感じています。ご家庭でのお子様との会話の中などで気になるようなことがありましたら、担任や児童支援専任へ連絡をいただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

挨拶を下野庭小学校ではとても大切にしています。先日朝会で行われた学援隊の方の紹介の中でも皆様から「続けてあいさつをしましょう」と投げかけてくれました。校門に立っているとどの学年の子どもたちもよく挨拶をしてくれますが、特に1年生は、とてもフレンドリーに「校長先生！」と声をかけてくれます。そして、ハイタッチをしてくれます。前任校でコロナが流行し始める前、児童会からの呼びかけもありハイタッチで子どもたちを迎えていたのですが、休校になる前には、感染防止の観点から止めていました。下野庭小学校でもハイタッチはしていませんでしたが、マスクと同様、そろそろいいかなと考えています。今年度は、様々な制限の解除を受け、私自身、リスタートと位置づけています。まずは、笑顔でハイタッチ、心があたたかくなります。

「笑顔は心を あたたかくする おまじない いつも笑顔を忘れないでね その笑顔は 今日も あなたと 周りのみんなを 幸せにしているよ」(『しあわせなかくれんぼ』(カナリアコミュニケーションズ)より引用)

さて、今年度代表委員会担当の先生と1年後の姿をみんなでイメージするような1年間のスローガンを立てたらどうだろうかと話していました。そうしたところ、運営委員会で話し合ってくれました。キーワードは、「かっこいい」だそうです。「いかに言葉が人々の感じ方や生き方を導くのか」ということを研究されている北見工業大学の准教授の春木有亮(ともあき)先生は、「かっこいい」という言葉について、中学生向けの講演会の中で次のように話していました。「かっこよくなるための手っ取り早い方法は、かっこいい誰かに出会いモデリングすることです。ということは、かっこいい誰かもたいてい別の誰かをモデリングしています。つまり、他者を追いかけることができる人こそが、自分らしさを確立できるということになります。ということは、あこがれるモデルになることも必要ですね。」と。子どもたちは、なぜ「かっこいい」という言葉を選んだのでしょうか。それは今の時代を反映しているようにも思います。つまり「かっこいい」モデルがないのではないかと。この1年、「かっこいい」という言葉や感性を追いかけることによって、発達段階に応じて、これからの人生を考えるきっかけになると良いなあと思いました。代表委員会の話し合いの中で、どんなスローガンができあがるのか楽しみにしています。そのスローガンは、横断幕にして掲示していきたいと考えています。先月号に、「日々の活動が子どもたちの未来にどのようにつながっているのかについて話題提供したい」と書きました。みんなで計画を立てることは、大切なことではないでしょうか。自分たちで考えてそれを実行していく。言われたことをやるだけでは、未来は切り拓けません。先が見通せない時代だからこそ、どうしたら良いのか考える必要があります。その答えは、きっと「心の中にある」と思います。

「幸せは心の中にあるもの 本当の幸せは 目には見えないもの 頭で考えるのではなく 心で感じてみて 幸せはすぐそばにあるよ 平凡な毎日こそがミラクル！」(前掲より引用)

〇マーチングバンドの様子

今年度もマーチングバンドの活動が始まりました。現在は、新入部員を迎え、5月3日に行われる「ザよこはまパレード(横浜国際仮装行列)や運動会に向けての練習に励んでおります。

昨年度は、地域での発表の機会に恵まれ、皆様からの温かい応援がとても励みになっていました。今年度も、全国大会出場に向けて、観ている人に元気を届けられるような演奏・演技になるよう、努力してまいります。ご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

マーチングバンドでは5月末まで新入部員を募集しておりますので、少しでも興味のある方は、担任の先生やマーチング担当にぜひお声掛けください。